

教養総合授業

リレー講座案募集中

2015年度の講座例

日本を読む、日本を書く

2名の講師によるリレー講座です。直木賞の選考会の方式で小説を評価する「日本を読む」と、故郷四番を制作する「日本を書く」が合体した講座でした。

ロボットを作ろう、動かそう

Benesseが取組んでいるロボットプログラミングとプレゼンテーションを組み合わせた企画の麻布版でした。

アフリカ学

最近、何かと注目されているアフリカに携わってきた方々に、政治、経済、文化、医療など、多様な面から紹介していただきました。

現代医療について考える

医療技術の最新技術から、医療現場の抱える問題まで、すべてOBの医師によって運営される人気講座です。

気分はもう戦争？！

「戦争」をテーマに、沖縄、戦争と教育、戦争と報道などのトピックから、ディスカッションを多く取り入れたリレー講座でした。

メディアとエンタメの未来予想図

メディアに携わる方々を広く招き、マスメディア、ミニメディアに関わらず今後のメディアのあり方を考える講座でした。



「現代医療について考える」より

教養総合授業リレー講座とは

2005年より始まったリレー講座は、教養総合1学期分（8回が目安）を1人の教員が担当する講座ではなく、1つのテーマに沿って複数の講師が交代で担当する講座です。学内の教員ではなく、大概の講座が外部の方の協力によって成り立っています。麻布OBの方も数多くご協力くださっています（裏面参照）。

通例、リレー講座のテーマは教養総合委員会（学内教員数名からなる分掌）のアイデア会議で素案が出され、様々な伝手を使って8回分の講師に依頼します。過去にはOBの方からアイデアが持ち込まれ、教養総合委員会の担当教員と打ち合わせの末、出来上がった講座もあります。

アイデア募集&担当講師募集

時代の最先端を行く講座を開講したいと意気込んではいますが、教員のみでは限界があります。そこで「こんな講座だったら8回分の講師も紹介できる」「もしこんな系統の講座を開くのだったら声をかけてほしい」という方がいらっしゃいましたら、お申し出ください。もちろんアイデアだけでも大歓迎です。

連絡先 天野崇（理科）（会場にある名刺をお持ちください）

